

令和元年5月8日付【環境新聞】
＜国交省下水道と意見交換＞
官民連帯分野の貢献策など



協
水コ
官民連携分野の貢献策など
国交省下水道部と意見交換

全国上下水道コンサルタント協会は4月24日、国土交通省下水道部の森岡泰裕部長をはじめ幹部と、官民連携（PPP）における貢献策やBIM／CIMの普及に向けて意見交換した（写真）。PPPの貢献について水コ

ン協は、企画調整の分野で人材育成とノウハウの強化を進めるとともに、業務提案活動を積極的に進めていく考えを示した。意見交換会の冒頭、水コ協の村上雅亮会長は「協会は、上下水道事業の重要な担い手としてコンサルタントが評価されるよう、業務改善や人材育成に取り組んでいる。今後の下水道事業の課題については、ストックを活用して下水道の持続と事業価値の向上を図ることだと考えており、官民連携をはじめこれらの課題に対しコンサルタントとして積極的な役割を果たしていきたい」

とあいさつした。

続いて盛岡泰裕下水道部長は、意見交換会のテーマとなっている官民連携について触れ、「官民連携は、下水道分野に限らず政府全体で積極的に推進していくべきとしている。皆様は事業全体を俯瞰できる立場でもあることから、私もも期待するところが大きい」と述べた。